

企業的園芸支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input checked="" type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]									
			[ふくいの農業基本計画]									
[事業目的]												
本県の園芸生産を拡大するため、新たに企業的農業経営を行う農業法人や一般法人に対して助成し、本県農業の活性化を推進する。												
[事業内容]												
1 企業誘致および企業的経営体の経営指導経費（事業主体：県） 企業誘致、経営確立指導 加工用野菜産地育成のための技術確立 2 農業法人等が企業的経営を確立するための経費（事業主体：農業法人、一般法人） ①企業的経営を確立するためのソフト事業（補助率1/2） ・技術研修、マーケット調査、独自の商品開発 等 ②企業的経営を確立するために必要な機械・施設等整備（補助率【一般型】1/2, 1/3, 2/10 【周年施設園芸型】2/10, 3/10） ・栽培機械、施設 ・出荷調製施設 ・農産物加工施設 ・直売施設 ・用地取得、造成 等												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		235,050	203,610	500,410	461,661	272,715	-	-	H27 一般法人に対する補助率、採択数の見直しによる減 H28 過去採択分の事業完了による減			
2月現計予算額の推移		271,909	321,490	415,798	250,203							
決算額の推移		270,353	308,780	388,079								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	当該事業採択企業（H23以降分）の園芸産出額（千円）	(目標) 39,365 (実績) 39,365	(目標) 341,396 (実績) 341,396	(目標) 465,258 (実績) 465,258	(目標) - (実績) -	(目標) - (実績) -	(目標) - (実績) -	(目標) - (実績) -	当該事業による増加額 10.5億円（H22 0億 → H35 10.5億）			
活動指標	事業採択数	(目標) (3) (実績) 2	(目標) (3) (実績) 5	(目標) (3) (実績) 4	(目標) (2) (実績) 2	(目標) (2) (実績) 2	(目標) (2) (実績) 2	(目標) (2) (実績) 2	平成27年度～ 採択数 年間2箇所			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、農業法人、一般法人				
予算額	272,715	190,900			81,815	事業実施方法		直営、補助				
						補助率		2/10～1/2				

事業評価

事業名	企業の園芸支援事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>企業的に露地園芸や施設園芸、周年施設園芸に取り組む農業法人や一般法人を誘致・支援し、園芸産地の育成、産出額拡大、雇用創出を図る。</p>							
[受益者] 農業法人、一般法人				[想定される受益者数] 21法人（23～26年度までの採択数13箇所+27年度以降採択予定数8箇所（2箇所×4年））			
他県の状況	<p>【石川県】 雇用拡大関連企業立地促進補助金 ・植物工場や食品製造工場設置に対する支援 対象：土地、家屋および償却資産の取得、 県外からの移転費、電気施設設置費 補助率：5%～20% 上限：10億円</p>	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 坂井丘陵企業的園芸拡大事業 （実績） 平成17年度～平成22年度に11法人を採択				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	各市町も県事業に連動した上乗せ補助や植物工場に対する企業誘致制度の適応事例もあり。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
26年度は、坂井北部丘陵地で露地園芸を展開する法人2社（県外1社、県内1社）とレタス等の植物工場を新設する法人2社（県外2社）を事業採択した。今後、企業的経営による園芸生産の拡大が期待できる。 27年度は坂井北部丘陵地で露地園芸を中心に取り組む法人1社と植物工場を規模拡大する法人1社を支援。		変更なし		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 187,652
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

砂丘地園芸産地育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 H29 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				■ 県単	■ 補助金			
[事業目的]											
ラッキョウやミディトマト、メロンなど高品質な作物が生産される三里浜砂丘地において新規農家の参入を促し、全国に売り出す園芸品目の生産を拡大する。											
[事業内容]											
<ol style="list-style-type: none"> 1 高糖度ミディトマト、メロンの大規模栽培を推進（事業主体：JA福井市、JA花咲ふくい 補助率：国1/2） <ul style="list-style-type: none"> ・JAが耐候性ハウスを整備し、新規参入者や規模拡大農家へリース 2 新規農家の参入を支援（事業主体：三里浜砂丘地営農推進協議会 補助率：県1/2） <ul style="list-style-type: none"> ・貸付可能畑の把握と新規参入者の確保 3 新規参入農家に貸し付ける農地の優良化（事業主体：三里浜特産農協、土地改良区 補助率：国1/2、県1/5） <ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地を堆肥投入等により短時間で優良化 ・防砂ネット、スプリンクラーの設置 											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移			47,730	157,530	171,540	55,330	119,629		H27当初予算のうち3,662千円は26.2月補正【経済対策】		
2月現計予算額の推移			35,660	88,942	134,390						
決算額の推移			33,094	84,900							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	砂丘地における生産額 (億円)	(目標)							当該事業による増加額 6.4億円 (H24 7.2億 → H32 13.6億)		
		実績	7.2	7.7	8.1	—					
活動指標	農地優良化後の施設園芸 団地、露地園芸拡大 (ha)	(目標)							平成29年までに27.6ha(累計) (国への補助金交付計画書による)		
		実績		4.2	8.3	—					
	新規農家参入(人)	(目標)									
	実績		1	4	—						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		JA等			
予算額	55,330	50,250			5,080	事業実施方法		補助			
						補助率		事業区分による(国1/2、県1/2、県1/5)			

事業評価

事業名	砂丘地園芸産地育成事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>九頭竜川パイプラインの稼働による全面通水を契機に、これまで砂丘地の園芸生産を阻害してきた農業用水の塩水化や冬期間の用水不足が解消され、安定した生産が可能になることから、耐候性ハウスや省力機械の導入により基幹品目（ラッキョウ、ミディトマト、ニンジン、メロン、コカブ等）の生産拡大を図る。</p> <p>また、排水性が優れる砂丘地土壌を活かして、ミディトマトやメロンなどの高品質フルーツ産地を育成し、砂丘地全体の園芸産出額を拡大する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
砂丘地への新規参入者や規模拡大する農家				農家戸数 約200戸			
他県の状況	北陸3県の中で、砂丘地で園芸生産のある石川県では下記のような園芸振興の事業があるが、砂丘地に特化した事業制度はない。 【石川県】 ・農業機械施設整備支援事業 担い手の経営規模の拡大や複合化、園芸産地の生産力強化や実需者ニーズ対応等に必要な機械及び施設の導入に対して支援 補助率：1/3以内	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 園芸産地総合支援事業 (役割分担) 国庫補助の対象にならない農業機械の導入支援は、県単の園芸産地総合支援事業で対応している。 ・JAが省力機械を整備し、新規参入者等へリース ・集落営農組合が機械を整備し、大規模栽培を開始	市町との連携状況	農地の優良化に関しては、坂井市が1/4補助 生産施設の導入に関しては、福井市、坂井市が1/10～2/10補助				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
26年度は三里浜砂丘地営農推進協議会において農地情報管理や就農相談を実施した結果、4名の新規就農者と3名の就農予定者を確保することができた。 また、JA等による土層改良や防風ネット、ハウス等の整備により8.3haの遊休農地を解消することができ、園芸産出額も約4千万円拡大した。		変更なし なお、予算については、実施主体の年度計画の事業量の減に伴う減額		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 112,548
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

水田農業大規模化・園芸導入事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			[ふくいの農業基本計画]									
[事業目的]												
収益性の高い農業経営への転換を図るため、営農規模の拡大や新たに園芸経営の導入を目指す集落営農組織の育成を支援する。												
[事業内容]												
1 100ha規模のメガファーム化推進（事業主体：JA中央会 補助率：1/2） メガファーム化研修会やステップアップ講座等の開催、先進事例調査、スペシャリスト派遣等に対する支援 2 法人化を図る集落営農組織等の育成（事業主体：集落営農組織等 補助率：1/3） 雇用者を確保し、10ha程度以上の経営面積の拡大、法人化を図るために必要な機械・施設等の導入に対する支援 3 新規集落営農組織の育成（事業主体：新規集落営農組織 補助率：1/3） 新規の営農組織の設立に必要な機械、施設等の導入に対する支援 4 園芸経営を取り入れる集落営農組織の育成（事業主体：集落営農組織等 補助率：1/3） 園芸作物の栽培に必要な装備の導入に対する支援												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移				200,000	203,000	244,943	106,000	60,000	園芸導入支援は、採択から3カ年支援を行うことに伴う増			
2月現計予算額の推移				180,000	203,000							
決算額の推移				172,499								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	集落営農組織等への農地 集積率（%）	(目標) 実績	(65.0) 65.1	(67.5) 67.6	(70.0) 70.1	(72.5) —	(75.0) —	(77.5) —	(80.0) —	H30目標 集落営農組織等への農地集積率 80%		
	園芸産出額（億円）	(目標) 実績				(2.4) —	(5.0) —	— —	(8.0) —	当該事業による増加額 10億円（H25 0億 → H31 10億）		
活動指標	事業実施主体数 （規模拡大組織・新規組織）	(目標) 実績			(27) 25	(25) 22	(23) —	— —	— —	H27年度実績は見込		
	事業実施主体数 （園芸導入組織）	(目標) 実績				(29) 17	(30) 29	— —	— —	H30目標 76組織等増加 H27年度実績は見込		
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	JA福井県中央会、集落営農組織等					
予算額	244,943				244,943	事業実施方法	補助					
						補助率	県1/2、1/3					

事業評価

事業名	水田農業大規模化・園芸導入事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>国の米政策の見直しに伴い、経営規模の拡大や園芸導入による多角化を進め、収益性の高い農業経営への転換を図る必要がある。 このため、100ha規模のメガファームや専従者を確保して40haまで規模拡大し法人化をめざす集落営農組織、新たな集落営農組織、園芸を導入して所得拡大をめざす集落営農組織を育成する。</p>								
[受益者] 集落営農組織等				[想定される受益者数] 75組織等（水田）、76組織等（園芸）				
他県の状況	<p>石川県 ・農業機械施設整備支援事業 担い手の経営規模の拡大・複合化、園芸産地の生産力強化や実需者ニーズ対応等に必要な機械・施設の導入に対して支援（県：1/3以内）</p> <p>富山県 ・担い手育成・規模拡大推進事業 経営規模の拡大や集落営農組織の新規設立等に伴い必要となる農業機械・施設の導入整備を支援（県：1/3以内）</p> <p>・1億円産地づくり支援事業 園芸産地の大規模化のため、JA等の施設整備や水田フル活用にむけた栽培実証へ支援（補助率：1/3以内）</p> <p>・とやまの園芸規模拡大チャレンジ事業 「1億円産地づくり支援事業」の対象とならない産地や品目において、生産者組織等の園芸部門の拡大や新規導入を支援（補助率：1/3以内）</p>	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 水田農業活性化事業 （実績） 規模拡大や新たな組織化、中山間地域での営農に必要な機械・施設等の整備について、155集落営農組織等に対し支援した。 H23:61組織（事業費:706百万円） H24:70組織（事業費:641百万円） H25:40組織（事業費:570百万円）					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域農業確立支援事業、園芸産地総合支援事業 （役割分担） 地域農業確立支援事業 農地の集積・集約化を進めるため、農地の出し手への支援を行う。 園芸産地総合支援事業 市場ニーズに応じた野菜・果樹等を安定して供給するため、新たに施設園芸・加工業務用の露地園芸に取り組む営農集団等を支援。	市町との連携状況	市町も事業費の一部を負担をしてもらい事業を推進					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
（規模拡大） ・経営規模の拡大や新規に集落営農を行う営農集団等への農業機械等の整備を支援し、農業経営の法人化や雇用の確保等を通じて営農規模の拡大を促した結果、成果目標は達成した。 （園芸導入） ・H26は17組織への機械整備を支援し、園芸作付の拡大を促した結果、園芸生産額の増加が図られ、生産額は8千万円拡大した。 ・H27は29組織を支援予定。		変更なし			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

農業経営力向上事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			事業 区 分	■ 国庫 □ 県単 □ その他	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[ふくいの農業基本計画]									
[事業目的]												
県内の意欲ある認定農業者や集落営農組織の代表などを対象に、経営塾を開設し、企業との連携や市場開拓のノウハウを農業経営に取り入れる 将来の本県農業を担うトップリーダーを育成する。												
[事業内容]												
「ふくい農業経営力向上塾」の開催（実施場所：ふくい農業ビジネスセンター）												
①全体講義（6回）7,228千円 成功事例を有する農業経営者や中小企業診断士、マーケット担当者を講師に招き、経営者精神、マネジメント、 マーケティングに関する能力を磨く研修を実施												
②個別指導（3回）4,666千円 経営計画の実現に向け、専門家を派遣し個別相談												
※受講料800千円（80千円×10名）を差引いて委託												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移							11,094	11,094				
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	塾生の売上金額の増加率	(目標) 実績					(120%)	(120%)		塾生の売上金額 20%増加		
活動指標	受講者数	(目標) 実績					(10)	(10)		同一の受講者が1年間の全ての講義を通して参加		
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	11,094	7,480			3,614	事業実施方法	直営（委託等）					
						補助率	—					

事業評価

事業名	農業経営力向上事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>これまで、兼業農家の組織化、集落営農組織の法人化、集落営農組織・認定農業者のメガファーム化と経営規模拡大による儲かる経営体の育成を行ってきた。TPPの合意に対応し、経営規模拡大に加えて、生産者から経営者への意識改革、専門的な技術・知識の習得および経営計画の策定・実践を図るために、農業経営力向上塾を開催し、地域モデルとなるトップリーダーを育成する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内の経営発展に意欲ある認定農業者や集落営農組織の代表など				10組織（構成員 約1,000人）/年			
他県の状況	<p>【石川県】 いしかわ耕稼塾を開設し、プロ農業者をめざす認定農業者等を対象に、ビジネスモデル構築、企業理念策定、マーケティングなどの能力向上を図る。（平成21年度～、年10名程度）</p> <p>【兵庫県】 ひょうご農業MBA塾を開設し、経営発展を目指す者を対象に、儲かる農業経営体を目指すための専門的な技術・知識の習得を図る。（平成22年度～、年10名程度）</p> <p>【島根県】 しまねアグリビジネス実践スクールを開設し、経営力向上や集落の発展に意欲のあるものを対象に、経営力の向上を図る。（平成26年度～、年10名程度）</p> <p>【熊本県】 くまもと農業経営塾を開設し、意欲ある若手農業者を対象に、経営力の向上を図る。（平成22年～、年25名程度）</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況	地域のトップリーダーとして育成すべき受講者の人選				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

コシヒカリを生んだ福井の稲作技術発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出 茂三	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
著名企業の発信力や都市圏イベントの話題性を利用して、コシヒカリのふる里福井と福井県の優れた育種・稲作技術を全国に発信し、ポストこしひかりへの期待を高める。												
[事業内容]												
都市圏の発信力のある企業等の協力により、本県の優れた育種技術・稲作技術をPR（事業主体：福井県農業再生協議会 補助率：定額）												
都市圏の本県ゆかりの企業や発信力のある企業の社員食堂に、本県産コシヒカリを期間限定で無償提供し、社員に本県産コシヒカリのおいしさを発見してもらうとともに、コシヒカリを育成した本県の優れた育種技術や稲作技術をPRし、企業の広報誌やホームページで取り上げてもらう。												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移				7,149	1,192	1,700			(参考) H26 「福井発コシヒカリ」全国キャラバン、コシヒカリー族サミット H27 有機・生き物 米づくり推進大会			
2月現計予算額の推移				7,149	1,192							
決算額の推移				6,265								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井の優れた育種・稲作技術をPRしてもらう企業数	(目標)				(3)						
活動指標	社員食堂での県産コシヒカリ提供数(回)	(目標)				(3)						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		福井県農業再生協議会				
予算額	1,700				1,700	事業実施方法		補助				
						補助率		定額				

事業評価

事業名	コシヒカリを生んだ福井の稲作技術発信事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出 茂三	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>平成30年のポストこしひかり本格生産を前に、販売のターゲットとしている首都圏の消費者に、日本の米づくりを支えたコシヒカリを開発した福井県の優れた育種・稲作技術を発信し、ポストこしひかりへの期待を高める必要がある。</p> <p>そこで、都市圏の本県ゆかりの企業や発信力のある企業の社員食堂等において全国に誇る福井の育種・稲作技術をPRし、企業の広報誌やホームページで取り上げてもらうことにより、ポストこしひかりへの期待を高める。</p> <p>(参考) H26 「福井発コシヒカリ」全国キャラバン、コシヒカリー族サミット H27 有機・生き物 米づくり推進大会</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
ポストこしひかり生産者				1,120経営体				
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 国産農林水産物・食品への理解増進事業 (農林水産省事業：国実施) (役割分担) <input type="checkbox"/> 生産者と食品関連事業者の連携促進事業 (国直接採択 公募型事業) 福井県産コシヒカリの社員食堂等での提供を通じて本県コシヒカリのおいしさと優れた育種技術や稲作技術をPRする。 <input type="checkbox"/> 国産品への理解増進のためのイベント実施事業 (国直接採択 公募型事業) ごはんの消費拡大イベント等の中で、コシヒカリを育成した福井の優れた育種技術や稲作技術をPRする。	市町との連携状況						
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
有機・生き物 米づくり推進大会を開催 <input type="checkbox"/> 開催月日：平成27年10月15日(木) <input type="checkbox"/> 開催場所：福井県国際交流会館 <input type="checkbox"/> 参加者数：200名 (生産者、関係機関、肥料・農薬・機械メーカー他)		「有機・生き物 米づくり推進大会」の開催により、農薬や化学肥料を減らした栽培によるポストこしひかりの生産に向け、生産者の機運を高めることができた。 平成28年度は、本事業によりコシヒカリ誕生60周年を契機として福井の優れた稲作技術を全国に発信し、ポストこしひかりへの消費者の期待を高める。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

園芸産地総合支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H21 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
営農集団等に対し、施設園芸や加工・業務用の露地園芸、果樹の産地育成に必要な施設等整備とJA等が産地づくりに必要な共同利用施設の整備に助成し、園芸作物の生産を拡大する。												
[事業内容]												
(新規園芸産地の育成) (ネクストブランド園芸産地の育成) ※1事業主体の事業実施期間は3年間以内 ・施設園芸型 新たに施設園芸に取り組む、または産地の核となる営農集団等が 補助率 1/3 規模拡大に取り組むための条件整備 ・露地園芸型 新たに加工・業務用の露地園芸を行うための条件整備 補助率 1/3 加工・業務用の生産出荷を行うための共同利用施設整備 補助率 1/3 ・露地果樹型 新たに果樹生産を行うための条件整備 補助率 1/3 (ネクストブランド園芸産地の育成) ※1事業主体の事業実施期間は3年間以内 ・1億円産地づくりに向け、大規模な野菜生産と県内外に出荷するための条件整備 補助率 1/3 ・販売戦略づくり、栽培技術の実証等にかかる経費 補助率 1/2 ・県による企業化支援事業 ビジネスプラン作成講座の開催、経営管理指導等												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		118,400	119,050	112,710	99,439	89,495	-		ネクストブランド園芸産地育成事業採択件数の減 (H25採択分がH27で終了のため)			
2月現計予算額の推移		117,695	115,090	106,710	99,439							
決算額の推移		115,427	111,255	102,406								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	園芸生産額の増加額 (目標)				(9.7)	(11.7)	(15.4)		当該事業による増加額 15.4億円 (H20 0億 → H29 15.4億)			
	(実績)	5.2	6.3	7.9	-							
活動指標	事業実施主体数 (目標)				17(3)	19(2)			H27年度実績は見込			
	(うちネクスト主体数)	26(6)	30(8)	26(5)	18(3)							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、営農集団、認定農業者、JA等				
予算額	89,495				89,495	事業実施方法		直営、補助				
						補助率		1/3、1/2				

事業評価

事業名	園芸産地総合支援事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
県内市場ニーズの高い品目として野菜、果樹等の生産拡大推進に加え、地産外商を進めるネクストブランド園芸産地の育成を継続して推進する。							
[受益者] 園芸を新たに取り組むまたは拡大する営農集団等				[想定される受益者数] 約210組織等			
他県の状況	<p>【富山県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1億円産地づくり支援事業 園芸産地の大規模化のため、JA等の施設整備や水田フル活用にむけた栽培実証へ支援 補助率：1/3以内 ・とやまの園芸規模拡大チャレンジ事業 「1億円産地づくり支援事業」の対象とならない産地や品目において、生産者組織等の園芸部門の拡大や新規導入を支援 補助率：1/3以内 <p>【石川県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業機械施設整備支援事業 担い手の経営規模の拡大や複合化、園芸産地の生産力強化や実需者ニーズ対応等に 必要な機械および施設の導入に対して支援 補助率：1/3以内 	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 水田農業大規模化・園芸導入事業 (役割分担) 新たに園芸を導入する集落営農組織等の経営体を支援。 水田を活用した園芸であることが前提。	市町との連携状況	市町も事業費の一部を補助し事業を実施する。				
[事業の評価]							
前年度の実績	実績を踏まえた28年度の変更点	事業評価					
新たに園芸生産に取り組む営農集団等に効果的な支援を行い、生産拡大に寄与しており、H25年度からH26年度については、園芸産出額は1.6億円拡大した。	変更なし。 なお、予算については、ネクストブランド園芸産地育成事業採択件数の減（H25採択分がH27で終了のため）に伴い減額。	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	△ 9,944	
		<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

水田活用大規模園芸事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 H28 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金			
[事業目的]											
水稲中心であった集落営農組織等に水田を活用したネギ、キャベツなどの大規模生産を導入し、経営発展のモデルを育成する。											
[事業内容]											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 露地野菜の大規模生産実践圃を5箇所／年設置（H23～25）。採択後4年間実証。 ・ 県、農業団体、農業機械メーカーで構成される水田畑地化推進プロジェクトチームにて実践支援するとともに、他集落等への普及を図る。 											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		37,975	52,735	50,512	49,613	28,739			H24採択の5実践圃終了による事業費減		
2月現計予算額の推移		25,429	50,013	50,512	49,613						
決算額の推移		22,784	49,458	49,515							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	水田を活用した園芸産出額（億円）	(目標) 0.9	(実績) 1.0	(目標) 1.2	(実績) 1.2	(1.5)	(2.1)		当該事業による増加額 1.3億円（H23 0.8億 → H28 2.1億）		
活動指標	大規模経営を行う集落営農組織等の育成数（累積）	(目標) 10	(実績) 15	(目標) 15	(実績) 15	(15)	(15)				
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	28,739				28,739	事業実施方法		直営			
						補助率		—			

事業評価

事業名	水田活用大規模園芸事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
10箇所の実践圃を引き続き設置し、県と関係機関が連携してモデル経営体の産出額拡大を促す。 同時に、実践圃を大規模園芸の経営モデルとし、周辺地域へ園芸導入を推進していく。							
[受益者]				[想定される受益者数]			
大規模水田畑地化実践圃モデル経営体				15経営体			
他県の状況	類似事業なし	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 水田農業大規模化・園芸導入事業 (役割分担) 新たに園芸を導入する集落営農組織等の経営体を支援。 水田を活用した園芸であることが前提。	市町との連携状況	農業経営支援部が組織するプロジェクトチームに参画し、経営体を育成している。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
県内15箇所で水田を活用した大規模野菜生産の実践を継続し、水田畑地化推進プロジェクトチームにおいて巡回指導や機械化研修、課題の整理と今後の対策等を検討した。 園芸拡大のためのモデルとして周辺経営体への情報提供などに寄与しており、園芸部門の販売額が向上した。		実践圃15箇所のうち5箇所が終了。 残り10箇所の実践圃を引き続き設置し、モデル経営体の産出額拡大を促す。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 20,874
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

くだもの産地育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			[ふくい農業基本計画、福井県果樹農業振興計画]									
[事業目的] 三里浜砂丘地や嶺南地域を中心にブドウ、イチジクの産地育成を行うとともに、古くから地域に根付いている在来果樹であるミカン、ビワの新植を支援することにより、産地の維持発展、県内産くだもの出荷量増加を図る。												
[事業内容] ○ミカン、ビワに加え、ブドウ、イチジクの新植支援（事業主体：営農集団等 事業費：30,900千円 補助率1/3） ①補助対象者 営農集団等 ②補助内容 栽培棚、雨よけ設備、苗木に係る経費 ③補助率 3分の1 ○ブドウ栽培の実践圃を設置（事業主体：県 事業費 1,076千円） ①実施内容 水田地帯、砂丘地等にブドウ栽培の実践圃を設置し、周辺に波及させるモデルをつくる												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		6,818	2,296	16,116	12,709	11,376						
2月現計予算額の推移		6,818	1,982	12,869	10,657							
決算額の推移		6,248	1,664	11,272								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	特産果樹の産出額 (億円)	(目標) 実績	0.0	0.2	0.3	(0.4) —	(1.0)			当該事業による増加額 2.4億円 (H25 0.2億 → H32 2.6億)		
	在来果樹の技術継承組織 数	(目標) 実績	8	12	13	— 14	(15)			H28までに15組織等		
活動指標	ブドウの販売量 (t)	(目標) 実績	13.0	14.0	21.0	(35.0) 37.0	(60.0)	(85.0)	(140.0)	H30までに140tに拡大		
	ブドウの栽培面積 (ha)	(目標) 実績	4.8	7.0	9.0	(11.0) —	(13.0)			H28までに13haに拡大 (栽培面積は醸造用を除く生食用のみ)		
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	営農集団等、県					
予算額	11,376				11,376	事業実施方法	補助、直営					
						補助率	県1/3					

事業評価

事業名	くだもの産地育成事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>ブドウの県内流通量は年間約400 t、約2億円あるが、県内産のブドウはほとんどない。気候条件としては福井県でも十分にブドウの栽培は可能である。そのため、平成23年度からブドウ栽培実践圃を県内8箇所に設置し、ブドウ栽培の実践と周辺農家への波及活動を行っている。さらに、早期の面積拡大を図るため、平成26年度からは新植に対する補助を拡充し、県内流通量の約半分の収穫量を目指している。</p> <p>また、古くから地域に根付いている在来果樹であるミカン、ビワ等については、新植を進めるとともに新規生産者への生産管理や加工の技術継承を進める。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
特産果樹栽培農家				60組織等 (年間10組織等×6年)			
他県の状況	<p>[石川県] ルビーロマンプロモーション事業 生産出荷体制の強化 PR・販売促進活動の展開による認知度向上</p> <p>ブドウの栽培面積〔平成26年産 農林水産統計より〕 ①山梨3,930ha、②長野2,270ha、⑤石川153ha、 ④④富山 29ha、④⑥福井 12ha (栽培面積は醸造用ブドウを含む)</p> <p>ミカンの栽培面積 ①和歌山7,390ha、②愛媛6,150ha、②⑥福井26ha</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 園芸産地総合支援事業 (役割分担) 園芸産地総合支援事業では、露地の果樹品目(ウメ、ナシ、カキ)の生産拡大を支援しており、本事業とは品目で分かれている。	市町との連携状況	市町も事業費の一部を補助している。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
水田地帯および砂丘地に設置したブドウ栽培実践圃8箇所を核として、果樹振興プロジェクトチームによる指導を行った結果、ブドウの栽培面積が2ha拡大した。		引き続き、実践圃を核とした普及活動を行い、ブドウ栽培面積を2ha増を目指す。 なお、予算額については、実践圃8箇所のうちH23年度に採択した4箇所について実証が終了したため減。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 1,333
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

越前水仙新規生産者育成緊急対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H29 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金			
[事業目的]											
越前水仙の生産拡大を図るため、平坦地での新たな産地づくりと生産規模の拡大を進める。											
[事業内容]											
1 球根養成機械化整備事業 (H27のみ) 球根掘り上げ、選別、植え付けの機械整備を支援 (実施主体: J A 補助率1/3)				4 出荷拡大支援事業 出荷量拡大分に対する経費の支援 (実施主体: 越前水仙出荷協議会 補助率1/3)							
2 球根増殖支援事業 種球確保、開花球増殖に要する初年目の経費を支援 (実施主体: 営農集団 補助率2/3)				5 販売促進事業 首都圏等の大手生花店を足掛かりとした新規店舗の開拓等 (事業主体: 県)							
3 新規生産者等条件整備事業 新規生産者の栽培開始に要する初度経費を支援 (実施主体: 生産者 補助率1/3)											
[予算額の推移等] (単位: 千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					16,020	13,316	-		・ H27年度当初はH26.2月補正【経済対策】 ・ 選別機、掘取り機等の支援は27年度のみ (J Aが球根養成組織にリース)		
2月現計予算額の推移					16,020						
決算額の推移					/						
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	出荷本数 (万本)	(目標)			(260)	(300)	(340)		H29目標 出荷本数 340万本		
		実績		250	-						
活動指標	販売額 (億円)	(目標)			(0.78)	(0.9)	(1)		当該事業による増加額 0.3億円 (H26 0.75億 → H29 1億)		
		実績		0.75	-						
活動指標	球根養成組織設立 (組織数)	(目標)			(1)	(1)	(1)		H29目標 球根養成組織設立数 3組織 (累計)		
		実績		0	1						
活動指標	新規生産者数 (人)	(目標)			(8)	(8)	(9)		H29目標 新規生産者数 25人 (累計)		
		実績		2	-						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		営農集団等、県			
予算額	13,316				13,316	事業実施方法		補助、直営			
						補助率		県1/3~2/3			

事業評価

事業名	越前水仙新規生産者育成緊急対策事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>従来事業により、集落共同作業組織および新規生産者の育成を進めてきたが、既存海岸部での育成が主であり、今後、高齢化や気象条件に対応するため、新たに平坦地での施設栽培を増やす必要がある。</p> <p>そのため、既存海岸部の生産規模を確保するとともに、球根供給システムを確立し、平坦地での新たな生産者を緊急確保することにより1億円産地を目指す。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内農家				100戸（新規農家8戸→8戸→9戸計25、既存平坦地農家37戸、既存海岸部農家38戸）			
他県の状況	(出荷本数) ①千葉県4,825千本 ②福井県2,500千本 ③長崎県179千本 ※富山、石川は生産なし (近隣の動き) ・石川県は県育成フリージア「エアリーフローラ」があるが、現在は試験的栽培であり、農家に普及して栽培面積を拡大する取り組みまでには至っていない。 ・富山県は新たにチューリップ球根生産に取り組む際に必要な初度経費（種球根代、機械リース代等）を支援するとともに、県で育成した品種の増殖に必要な経費、球根の購入費用、機械購入費用を支援	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 越前水仙安定生産支援事業 (実績) ・集落共同作業組織 2組織育成 ・後継者および新規生産者10名育成				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	越前水仙を栽培している市町と連携しながら事業を推進				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・養成組織1組織育成 ・球根110万球掘り上げ（うち開花球30万球） ・開花球30万球を平坦地生産者に配布 ・新規生産者5名育成		球根養成機械化整備事業の終了		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 2,704
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

いきいき里山特産品育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			[ぶくいの農業基本計画]									
[事業目的]												
国内生産の需要が高まっている薬草を里山の新たな特産品として育成するための実証研究等を行う。												
[事業内容]												
<p>1 現地実証圃の設置（大野市和泉、越前市白山、小浜市中名田、福井市酒生） 薬草の安定した生産に資する栽培技術を確認するために検証圃を設置する。 【検証品目（10品目）】カハナオギ、シマサイコ、カケヅク、ゲンソウコ、カラヨモギ、キョウ、コガハナ、ジャノヒゲ、イリソウ、センキュウ</p> <p>2 実需者を交えた試験結果（収量・品質等）検討、研究会の開催 薬草の栽培に資する取組を実施するため、地域の実情に応じて学識経験者、生産者、市町、農林総合事務所（嶺南振興局）、農業関係者、実需者等で構成する検討会を開催し、事業全体の方針・内容の検討、地域ごとの気象条件・土壌条件等に適した品目の選定、進行管理、成果の取りまとめ、情報の発信等を行う。</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					5,583	5,213	4,525					
2月現計予算額の推移					5,572	4,996						
決算額の推移					4,337							
[成果指標等の推移]												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績									栽培実証の事業であり成果指標の設定は困難		
活動指標	検証圃設置数（箇所）	(目標) 実績			(4) 4	(4) 4				平成28年度目標 検証圃4箇所		
	検証品目数（品目）	(目標) 実績			(10) 10	(10) 10				平成28年度目標 検証品目数10品目		
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	4,525				4,525	事業実施方法	直営					
						補助率	—					

事業評価

事業名	いきいき里山特産品育成事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>日本が漢方薬に使用する薬用植物（以下、薬草）は、中国産がほとんどを占めているが、中国内での需要の高まり等から輸出が不安定になっている。このことから、国産薬草に対する国内生薬メーカーの期待が高まっており、安定した生産ができれば、収入の確保が期待できる品目である。薬草は木陰で水はけのよいところを好む傾向が高いことから、本県の中山間地域において栽培することにより新たな地域特産づくりや耕作放棄地の解消につながることを期待できるため、本県に適する品目の選定、栽培方法の確立を行う。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内農家				栽培実証の事業であり実需者数の設定は困難			
他県の状況	<p>栽培面積 1位北海道307ha、2位富山県207ha、3位和歌山県176ha、7位福井県113ha、19位石川県15ha</p> <p>近隣の動き 富山県が本県と同様、県を挙げて薬草の推進を図っている。 H26 事業費約400万円 シャクヤク洗浄機の開発 H27 事業費約860万円 シャクヤク掘取機、乾燥機等の開発</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	薬草の研究、まちづくりを行っている市町に対して情報提供を適時行っている。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
H26は目標としていた4箇所の検証圃を設置。各検証圃で10品目の検証を行い、そのなかで1品目（キバナオウギ）の収穫ができ、収量、成分とも有望であった。 H27は前年同様4箇所の検証圃が設置。計7品目の収穫ができ、ゲンノショウコ、カワラヨモギが収量、成分とも有望であった。		H28は継続して4箇所の検証圃の運営を行い、3品目についても、適宜収穫を行い、収量や有効成分の評価を行う。 また、これまでに有望であったキバナオウギ、ゲンノショウコ、カワラヨモギについて栽培方法の改善を図り、さらなる収量、品質の向上を目指す。栽培マニュアルも作成する。 なお、予算額については、秋の植え付け作業を行わないことに伴い減。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 688
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

自然光利用型の連棟ハウス整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input checked="" type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]									
[事業目的]												
自然光を利用した大型ハウスによる周年出荷型大規模園芸を支援する。												
[事業内容]												
<p>1 施設建設、栽培装置の導入 補助率 国1/2 県1/10 (市町1/10) 実施主体 農業生産法人、農業生産者集団等</p> <p>2 経営初期の雇用支援 嶺南地域 1,000千円/年を5年間 実施主体 農業生産法人、農業生産者集団等</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				0	120,000	360,000	604,000			H25年度は、120,000千円をH26年度へ繰越 H27年度は、大規模ハウス整備数を3箇所/年に増加 H28年度は、大規模ハウス整備数を5箇所/年に増加		
2月現計予算額の推移				120,000	120,000	257,541						
決算額の推移				0	120,000							
[成果指標等の推移]												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	周年出荷型園芸産出額 (億円)	(目標)		(0)	(0.3)	(1.8)	(2.7)	(3.3)	(3.7)	当該事業による増加額 4.5億円 (H24 0億 → H32 4.5億)		
		実績			0.01	—						
活動指標	周年出荷型産地数 (箇所)	(目標)		(1)	(3)	(6)	(9)	(12)	(15)	H30までに15箇所(累計)		
		実績		1	3	5						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	農業生産法人等					
予算額	604,000	500,000			104,000	事業実施方法	補助					
						補助率	国1/2、県1/10、(市町1/10)					

事業評価

事業名	自然光利用型の連棟ハウス整備事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>園芸産出額の拡大と農業経営の安定を図るため、自然光利用型の連棟ハウスによる雇用を取り入れた大規模な園芸施設において、周年供給できる競争力の高い園芸産地を育成し、園芸産出額の拡大と農業経営の安定を図る。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
大規模施設で園芸に取り組む農業生産法人等				15経営体（～H30年）				
他県の状況	新潟県 施設園芸次世代モデル創出事業 園芸用ハウス養液栽培装置等の補助 補助率1/2 富山県 競争力強化生産総合対策 農産物処理加工施設、生産技術高度化施設、集出荷貯蔵施設整備 補助率 1/2	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 企業の園芸支援事業 (役割分担) 企業の園芸支援事業では、企業が閉鎖系植物工場において周年生産する取組を支援。	市町との連携状況	市町も県事業に連動した補助を実施					
[事業の評価]								
前年度の実績	実績を踏まえた28年度の変更点	事業評価						
26年度（25年度から繰越）に整備した、約5,000㎡の大規模園芸施設で、ミディトマトの周年栽培を開始（27年3月より出荷開始） 同年に整備した約5,000㎡の大規模園芸施設でトマトの周年栽培を開始。 平成27年度は、小浜市、若狭町で青ネギ施設、おおい町でイチゴ施設を整備中。	事業主体や農地の確保など、実現性の高い計画を優先し、目標に向けて整備を進めていく。（H30までに15箇所）	<input type="checkbox"/>	拡充	<input type="checkbox"/>	縮減	<input type="checkbox"/>	終期の見直し	見直し額
		<input checked="" type="checkbox"/>	継続	<input type="checkbox"/>	休止	<input type="checkbox"/>	完了	
		<input type="checkbox"/>	整理統合	<input type="checkbox"/>	廃止	<input type="checkbox"/>	その他	

「次世代大規模施設園芸」整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				■ 県単	■ 補助金				
[事業目的]												
集約的に次世代型大規模施設園芸に取り組み、企業的農業経営をめざす農業法人等に対して助成し、本県農業の活性化を推進する。												
[事業内容]												
<p>農業法人等が次世代大規模施設園芸に取り組み、企業的経営を確立するための経費 実施主体 農業法人、一般法人、農業者が組織する団体、大規模施設園芸コンソーシアム(ソフトのみ) ①機械・施設等整備 補助率 国1/2、県1/10 ②ソフト事業 補助率 国10/10</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					751,000	1,620,000	1,200,000			H26年度は、大規模ハウスと集出荷施設を整備 H27年度は、農産物加工施設を整備 H28年度は、植物工場を整備		
2月現計予算額の推移					906,000	420,000						
決算額の推移					246,000							
[成果指標等の推移]												
	区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	事業実施主体の園芸産出額(億円)	(目標)			0	0		(8)	(11)	当該事業による増加額 11億円 (H25 0億 → H31 11億)		
		実績										
活動指標	「次世代大規模施設園芸」整備数(箇所数)	(目標)			(0)	(0)	(1)			H28年度末 1箇所(高浜町)		
		実績			0	0						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	農業法人					
予算額	1,200,000	1,000,000			200,000	事業実施方法	補助					
						補助率	国1/2、県1/10、(市町1/10)					

事業評価

事業名	「次世代大規模施設園芸」整備事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
園芸産出額の拡大を目指すため、大規模な生産施設に加え集出荷施設や加工施設などを一体的に整備することによる農業経営の効率化、安定化を図り、競争力の高い経営体を育成する。							
[受益者]				[想定される受益者数]			
次世代型大規模施設園芸に取り組む農業法人等				1法人（新規雇用180人）			
他県の状況	富山県（富山市）、兵庫県（加西市）他全国10都道府県で整備事例 次世代施設園芸導入加速化支援事業 国10/10（H25～H27）	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	市町も県事業に連動した補助を実施（高浜町）				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
26年度に本県（高浜町）に進出し、事業計画を認定した3.6haの自然光利用型大規模園芸施設を整備した。 27年度は野菜カット加工施設建設の計画を認定し、整備中である。		平成27年度に予定していた閉鎖型植物工場については事業年度を1年延長し、平成28年度の整備を目指す。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井そばブランド確立事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H17 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 H28 年度	H28 年度
関連する県の計画等		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
「越前おろしそば」のブランド化を図るため、第21回となる全日本素人そば打ち名人大会の決勝大会を開催し、「越前おろしそば」の食文化を発信する。												
[事業内容]												
1 栽培管理指導の徹底によるそばの反収向上・栽培推進 2 大麦跡作・中山間地域・耕作放棄地等での栽培推進 3 第21回全日本素人そば打ち名人大会を本県で実施 4 片山虎之介氏と連携した情報発信												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移			989	2,755	3,236	3,810	2,650			H28～首都圏でのPR、販路開拓関連予算は他事業（ゆかりの店の情報発信拠点活用事業）へ統合		
2月現計予算額の推移			989	2,755	3,236	3,810						
決算額の推移			756	2,592	3,021							
[成果指標等の推移]												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	全日本素人そば打ち名人大会参加者数(人)		(350)	(460)	(460)	(460)	(460)			目標参加者数 予選1会場あたり27名(過去10か年平均) 24年度 13か所 25年度 17か所 26年度 17か所 27年度 17か所		
		(実績)	448	502	523	478						
活動指標	メディア等を用いたPR件数(件)		-	-	-	(1)	(2)					
		(実績)	-	-	-	2						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		福井そばルネッサンス推進実行委員会				
予算額	2,650				2,650	事業実施方法		補助				
						補助率		県1/2				

事業評価

事業名	福井そばブランド確立事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>福井県はそば作付面積全国第4位(H26)の全国有数のそば産地であるが、そば店では福井のそばとして提供されていないため、一般消費者のそば産地としての福井県、福井県産そばの認知度は低い。</p> <p>そこで、「越前おろしそば」の食文化を発信し、ブランド化を進めることにより、県産そばの需要量を増加し、県産そばの生産振興を図る。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内そば生産者、実需者（そば店等）				1,550経営体				
他県の状況	(そば主産県) 【山形】そばの生産振興関連事業 ・実証圃設置、新系統の採種圃設置、協議会活動費補助 【福島】そばの生産振興、6次化支援事業 ・作業委託費の補助、成分分析・視察経費の補助、商品開発の補助 【茨城】中山間地域振興事業 ・首都圏で「常陸秋そばフェア」を開催（首都圏のそば店で食数限定で「常陸秋そば」を提供）、県内そば店スタンプラリーの実施 【長野】「信州ひすいそば」の生産振興と販売促進事業 ・栽培講習会、実証圃設置、そば打ち講習会、PR活動経費	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井そばブランド確立事業（H23～25） （実績） 越前おろしそばの食文化発信や県産そばの販路拡大の結果、名人大会の参加者は約500人まで増加し、県産そば使用認証店は約100件まで増加した。 さらに、首都圏の消費者の認知度を高めるため、首都圏への情報発信を強化した。					
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	生産面では、国の制度（経営所得安定対策等）を活用して、そば生産者への支援を行っている。 また、各地域のそばまつり開催に対し市町が支援することにより、全県下においてそば産地福井の情報発信を行っている。					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
平成26年度は、第19回全日本素人そば打ち名人大会を東京で開催して首都圏の消費者に福井のそば文化を発信するとともに、マッチング商談会を同時開催して首都圏のそば店に県産そばの魅力をPRした。 平成27年度については、第20回全日本素人そば打ち名人大会を記念して、そばに精通したジャーナリスト片山虎之介氏と連携して福井そばの情報発信を行った。11月には第20回名人大会を本県で開催するほか、歴代名人を集めたそば打ち企画や講演会などを開催。		前年に引き続き、越前おろしそばの食文化等を情報発信をすることで福井そばのブランド化を進める。 H28～首都圏でのPR、販路開拓関連予算は他事業（ゆかりの店の情報発信拠点活用事業）へ統合			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 787
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「ポストこしひかり」生産対策事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課		課長名	向出茂三
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[ふくいの農業基本計画]									
[事業目的]												
<p>「ポストこしひかり」を平成30年度から本格生産するため、現地実証栽培により各地の土壌や気象に応じた栽培指針を策定するとともに、次年度以降の栽培に必要な種子を確保する。 また、平成29年度の試験生産販売に向けて、大規模実証栽培を行い、米穀店へアピールする。</p>												
[事業内容]												
<p>○試験栽培（1,397千円） 現地実証栽培 現地実証栽培圃の設置（1a/品種×4品種×5地区）、栽培マニュアル作成</p> <p>○生産対策（89千円） 生産対策会議の開催 H29産生産者募集と認証、栽培講習会 現地大規模実証栽培 現地大規模実証栽培圃の設置（20a/品種×4品種×5地区）、実作業体系での品質確認、技術研修</p> <p>○種子確保（3,507千円） 種子の増殖 次年度以降の栽培に必要な種子増殖圃の設置</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					1,754	4,993	—		種子確保に要する費用の増			
2月現計予算額の推移					1,754							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ポストこしひかり候補 (種)	(目標)			(4)	(1)	品種登録出願		H29テスト生産販売 600t H30本格生産販売開始 10,000t			
		実績			—							
活動指標	現地実証栽培圃(箇所)	(目標)			(5)	(25)	(25)		・5箇所は現地実証栽培圃 ・20箇所は現地大規模実証栽培圃			
		実績			5							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	4,993			(財) 4,210	783	事業実施方法	直営					
						補助率	—					

事業評価

事業名	「ポストこしひかり」生産対策事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>「ポストこしひかり」を県内に速やかに普及させるには、土壌条件や気象条件が異なっても安定して高い食味や品質が得られることを現地において実証する必要がある。 現地実証を行った生産者の経験を活かし、本格生産に向けた生産者の研修を行うことにより、生産販売当初から高い品質を確保する。</p>							
[受益者] 生産者				[想定される受益者数] 1,120経営体			
他県の状況	<p>【近年品種登録または登録出願された品種】</p> <p>北海道 ゆめぴりか（H23登録） 山形 つや姫（H23登録） 秋田 秋のきらめき、つぶぞろい（H26登録） 青森 青天の霹靂（H26出願） 新潟 新之助（H27出願）</p> <p>【品種登録出願予定】</p> <p>岩手 岩手107号（H27） 岩手118号（H29） 山形 山形112号（H27） 福島 福島30号（H27）</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「ポストこしひかり」ブランド化事業 （役割分担） ポストこしひかりのブランド化戦略会議を設置し、高価格販売に向けたイメージ戦略や販売戦略を協議、確立する。	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
現地実証栽培圃 5箇所設置 ポストこしひかり候補 4種に絞り込み		現地実証栽培圃5箇所に加え、新たに実作業体系での品質確認、技術研修のための現地大規模実証栽培を実施		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「ポストこしひかり」有機栽培等拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過 年数	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
			[ふくい農業基本計画]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]												
「ポストこしひかり」の有機栽培等技術の普及実証を行い、有機栽培米や無農薬無化学肥料栽培米の生産販売を拡大する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○有機栽培等技術の普及実証（5地区×10箇所） <ul style="list-style-type: none"> ・除草、代かき、深水管理など有機栽培等技術を現地実証 ・除草機リースへの支援 ○有機栽培、無農薬無化学肥料栽培の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の掘り起し、有機栽培等部会設置 ・有機栽培等講習会開催 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移							3,497	3,497	3,497			
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	有機栽培等ポストこしひ かり栽培面積 (ha)	(目標) 実績					(0)	(10)	(200)	ポストこしひかり作付面積の1割		
活動指標	有機栽培等技術の普及実 証 (箇所)	(目標) 実績					(50)	(50)	(50)	(5地区×10箇所)/年		
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	JA					
予算額	3,497				3,497	事業実施方法	補助					
						補助率	県1/2					

事業評価

事業名	「ポストこしひかり」有機栽培等拡大事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>全国の米産地から新品種が登場し食味ランキング「特A」を獲得する銘柄が増えている。 百貨店や高級スーパーからのニーズが高く、ポストこしひかり全体の評価を引き上げ高級ブランド米のイメージアップ確立につながる高付加価値商品として、有機栽培米や無農薬無化学肥料栽培米を位置づけることが必要。</p>							
[受益者] 生産者				[想定される受益者数] 100組織・戸			
他県の状況	(全国の状況) 水稻の有機JAS認証面積の割合は、全国では0.2%。本県も0.2%。0.2~0.3%の県が多い。 有機栽培米は、百貨店の店頭価格で減農薬減化学肥料栽培の1.5倍程度の価格で販売されている。			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「ポストこしひかり」生産対策事業 (役割分担) ポストこしひかり候補の選定、種子の増殖、栽培指針作成、生産者の募集と認定を実施する。 高食味、高品質のポストこしひかり生産体制を構築する。			市町との連携状況			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「福井百歳やさい」産地拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠	ビジョン	[元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
			[ふくいの農業基本計画]				<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]												
本県で100年以上前から栽培される伝統野菜の生産拡大を支援するため、種子の保存・増殖を行う。												
[事業内容]												
農業試験場において、福井百歳やさいの種子増産、供給を行う。												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移						328	658	1,050				
2月現計予算額の推移						328						
決算額の推移						/						
[成果指標等の推移]												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
活動指標	種子の生産数量	(目標)				(7.0)	(14.5)	(44.0)		福井百歳やさい(杉箸アカカンバ、菜おけ、吉川ナス) 3品目の種子生産数量(L)		
		実績				7.0						
	種子の供給数量	(目標)				-	(7.0)	(14.5)	(44.0)	福井百歳やさい(杉箸アカカンバ、菜おけ、吉川ナス) 3品目の種子供給数量(L)		
		実績				-						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	658			(財) 184	474	事業実施方法	直営					
						補助率	—					

事業評価

事業名	「福井百歳やさい」産地拡大事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>福井県内には、地域の風土や文化に根ざした伝統野菜が多く存在するが、種子が市販されていないものがある。 そこで、伝統野菜について生産拡大を図るため、種子供給が困難なものについて、必要となる種子の増殖と供給を行う。</p>							
[受益者] 福井百歳やさい生産者				[想定される受益者数] 200人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「福井百歳やさい」産地拡大事業（地農課） (役割分担) 地域農業課：産地拡大支援 生産振興課：産地拡大に必要な種子の増殖・供給		市町との連携状況	連携して生産者団体を支援			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
杉箒アカカンバ、菜おけ等の種子を農業試験場で7a7l生産しているところであり、平成28年度9月頃には、地域への種子供給を開始し、生産拡大を図る予定である。		変更なし		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

おいしい福井米生産体制整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H28 年度
関連する県の計画等		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金			
			[ふくいの農業基本計画]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他			
[事業目的]											
「福井米」のさらなる評価向上のために土づくりの推進を図り、「特A」評価を定着させるとともに、良食味で高品質な「福井米」の生産振興を行う。											
[事業内容]											
<p>「特A」評価の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特A技術普及実践圃場の設置、専門機関による食味評価を実施 <p>土づくり啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修および機械実演会の開催（土づくり研修会は27年度まで） <p>有機50%基肥一括肥料の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県独自の有機50%一括肥料に土づくり資材を加えた肥料の現地試験を実施 											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由	
当初予算額の推移					2,025	2,170	1,939				
2月現計予算額の推移					2,025	2,170					
決算額の推移					1,874						
[成果指標等の推移]											
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠	
成果指標	「特A」相当米産地	(目標)			(1)	(1)	(1)			(一財)日本穀物検定協会が実施する「米の全国食味ランキング」 「特A」評価	
		実績			1	2					
活動指標	「特A」実践圃設置	(目標)			(28)	(28)	(28)			「特A」評価を得るための栽培技術を実践する圃場を設置し、品質向上効果を確認する	
		実績			28	28					
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	1,939				1,939	事業実施方法	直営				
						補助率	—				

事業評価

事業名	おいしい福井米生産体制整備事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>特A実証圃と土づくり資材肥料展示圃を設置するほか、土づくり実践大会を開催し福井米の品質向上を図った。コシヒカ리는4年連続で「特A」評価を獲得した。 福井米のさらなる評価向上のためには、「特A」評価獲得のための実践圃場の設置は有効であり、今後も継続する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
米生産農家				15,000経営体			
他県の状況	<p>全国の特A銘柄は、平成24年産が29銘柄、平成25年産が38銘柄、平成26年産が42銘柄、平成27年度は46銘柄と増加し、品質の高い米の間でも産地間競争が激しくなっている。</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「ポストこしひかり」生産対策事業 (役割分担) 平成30年度から本格生産する「ポストこしひかり」においても、「特A」評価を獲得し、福井米の評価をさらに高めるため、栽培方法の確立と普及を行う。	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
特A実証圃と土づくり資材肥料展示圃を設置、また土づくり実践大会を開催しコメ生産者に対し福井米の品質向上のための技術指導を継続して行った。これによりコシヒカ리는4年連続で「特A」評価を獲得している。		土づくり研修会は27年度において終了		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 231
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井県大3号（ふくこむぎ）生産拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等		政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			<input type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金					
		[ふくいの農業基本計画]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
新たな需要に応じた麦の作付を推進するため、福井県大3号の栽培技術の普及と生産の拡大を図る。												
[事業内容]												
1 福井県大3号（ふくこむぎ）の生産拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・福井県大3号 穂肥施用省力化技術栽培実証圃の設置（3か所） ・生産農家に対する栽培講習会の開催 2 福井県大3号（ふくこむぎ）の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・福井県大3号を使った新たな商品の開発のための県内実需者による特性評価 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移							1,123	1,130				
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	福井県大3号の作付面積 (ha)						(120)	(200)		作付面積 167ha増 (H27 33ha → H29 200ha)		
活動指標	実証圃の設置 (箇所)						(3)	(3)				
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	1,123	1,123			0	事業実施方法	直営					
						補助率	—					

事業評価

事業名	福井県大3号（ふくこむぎ）生産拡大事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年に新たな小麦品種「福井県大3号（ふくこむぎ）」が福井県立大学において育成され、品種登録された。 ・平成24年以降現地での農業試験場および現地での栽培試験を続け、栽培技術が確立し収量が安定してきた。 ・現在、JA吉田郡管内を中心に約30ヘクタールが栽培されている。 ・パンや中華麺に加工されてごく一部の県内飲食店にて販売されている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンパク含量を高めるため、穂肥を多く施用する必要があるとあり、散布にかかる省力化が現場から求められている。 ・福井県大3号の特性が実需者に理解されておらず、県内実需者の利用が進んでいない。 							
[受益者] 県内農業者				[想定される受益者数] 30農業者			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

園芸拠点施設基本計画策定事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠	ビジョン	[元気な産業]			事業 区分	■ 国庫 ■ 県単 □ その他	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H30 年度
関連する県の計画等			[ぶくいの農業基本計画]								
[事業目的] 嶺南地域の園芸拠点として、薬草等を活用した新たな里山里海湖ビジネスに向けた実証・展示と園芸に関する体験・学習を行う施設を整備する。 また、「農」「食」「健康」を体感でき、地元で生産された農産物の直売所および、薬膳や地域食材を使った料理を提供するレストランを併せて整備する。 28年度は、これらの整備に向けた基本計画を策定する。											
[事業内容] 全体 ・ 基本計画策定、測量調査設計、土地造成に係る実施設計、土地購入、その他（道路フェンス、外灯等の整備） 薬草エリア ・ 薬草見本園の整備（園地造成・園地植栽） ・ 園地管理備品整備 学習エリア ・ 園芸LABOの整備（薬草や農産物の加工を体験できる施設） ・ 展示ハウスの整備（体験で用いる花や珍野菜等の展示用ビニールハウス） ・ 松平ゆかりの果樹園（福井藩松平試農場ゆかりの果樹の展示） 交流エリア ・ 直売所の整備（地域の農林水産物・加工品、ハーブや薬草グッズの販売） ・ レストランの整備（薬膳料理や伝承料理を提供） ・ 交流広場の整備 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">※下線箇所は、28年度実施 ※整備内容、役割分担等について美浜町と調整中</div>											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移						34,008	485,772	448,550	H28 基本計画策定、測量調査設計、土地造成に係る実施設計 H29 土地造成、土地購入、薬草見本園、園芸LABOの整備 H30 園芸LABO、展示ハウス、松平ゆかりの果樹園等の整備		
2月現計予算額の推移											
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績								本事業は、施設整備を進める事業であり目標の設定は困難		
活動指標	(目標) 実績								本事業は、施設整備を進める事業であり目標の設定は困難		
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	34,008	23,805			10,203	事業実施方法	直営				
						補助率	—				

事業評価

事業名	園芸拠点施設基本計画策定事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
薬草の栽培（薬草見本園）、薬草等を使った体験・学習（園芸LABO、展示ハウス、歴史的果樹の展示）の施設と食の施設（直売所、レストラン）を美浜町と連携して整備することにより、薬草の研究から新たな産業化までを一体的に支援するとともに、観光・集客による嶺南地域の活力向上に結びつける。							
[受益者] 県内外の訪問者				[想定される受益者数] 24,000人			
他県の状況	<薬用植物園を所有する都道府県> ・東京都：東京都薬用植物園（S21設立） ・富山県：富山県薬用植物指導センター（S42設立） ・宮崎県：宮崎県総合農業試験場薬草・地域作物センター（H13設立）	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	施設内容や施設整備の役割分担について美浜町と協議中。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

若狭牛・高能力乳牛導入支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H31 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金			
			[ふくい農業基本計画]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他			
[事業目的]											
県産畜産物の生産・販売を拡大し収益性の高い経営を実現するため、若狭牛や高能力乳牛への転換を推進する。											
[事業内容]											
1. 若狭牛肥育への転換 補助率 県1/2 2. 高能力乳牛への転換 補助率 県1/2 3. 若狭牛肥育や高能力乳牛飼育に適した施設への再整備 補助率 県1/3											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					26,805	40,459	—	—	H28年度は、事業対象頭数の増に伴う増額		
2月現計予算額の推移					26,805						
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	若狭牛出荷頭数(頭)	(目標)			(500)	(500)	(550)	(650)	37年度 1,000頭出荷		
		実績			—						
成果指標	福井県産牛乳生産量(t)	(目標)			(7,000)	(7,000)	(7,200)	(7,600)	39年度 8,000 t 生産		
		実績			—						
活動指標	若狭牛導入頭数(事業活用)	(目標)			(100)	(150)	(150)	(100)	4年間500頭 (H27 100頭、H28 150頭、H29 150頭、H30 100頭) H27年度実績は見込		
		実績			34						
	高能力乳牛導入頭数(事業活用)	(目標)			(25)	(50)	(50)	(50)			
		実績			10				5年間225頭 (H27 25頭、H28～H31 50頭ずつ) H27年度実績は見込		
施設再整備(事業活用)	(目標)			(2)	(4)	(4)	(4)				
		実績			2				H27年度実績は見込		
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	市町				
予算額	40,459				40,459	事業実施方法	補助				
						補助率	牛導入価格差の1/2、事業費の1/3				

事業評価

事業名	若狹牛・高能力乳牛導入支援事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>交雑種肥育農家は、国からの赤字補てんを得て経営を継続している。 自力での経営継続が可能な和牛肥育に転換しようにも、高価な和牛子牛導入経費や肥育期間延長に伴い増加する飼料費など、転換に伴うかかり増し経費を確保できない。 「福井県産牛乳」は、市場から増産を望まれ既存乳処理施設において増産対応可能であるが、原料の県産生乳の減産が続いている。住宅地との混在化が進んでおり、酪農家の規模拡大による増産はできない。</p>							
[受益者] 畜産農家		[想定される受益者数]					
		県内酪農家		25戸			
		県内交雑種肥育農家		16戸			
他県の状況	石川県 能登牛増頭支援 定額(100千円/頭) 富山県 該当なし 滋賀県 近江牛増頭支援 定額(100千円/頭)	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 畜産経営安定化支援事業 (実績) 担い手確保活動、6次化支援、繁殖用牛等の導入や機械、施設の整備に対し支援し、畜産農家の経営基盤強化が図られた。				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	・農家の事業要望への対応については、市町と連携して実施 ・市町も県事業に連動した補助を実施				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
若狹牛・高能力乳牛への転換やそれに伴う施設整備について、4市町を通じて支援を行った。 今後も若狹牛への転換を進めるため、県肉用牛協会やJA、農家を巡回し事業の説明を行い事業の推進を図る。		変更なし		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

三ツ星若狭牛PR事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[ふくいの農業基本計画]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
平成26年度より認証制度がスタートした三ツ星若狭牛の認知度向上のため、県内外に向けてPRを行う。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 三ツ星若狭牛の認知度向上 ・ 販促資材の作成・配布、県内レストランへの三ツ星若狭牛サンプル提供、県内レストラン等へのPR ・ 関係団体による新承認制度発足および販売促進・イベント参加への支援 <p style="margin-left: 20px;">実施主体 経済連等 補助率 1/2</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					4,118	3,398	3,148					
2月現計予算額の推移					4,118	3,398						
決算額の推移					3,768							
[成果指標等の推移]												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	三ツ星若狭牛販売頭数 (目標)				(50)	(70)	(100)	(250)		平成29年度目標 250頭		
	実績				149	215						
成果指標	三ツ星若狭牛販売額(千円) (目標)				(50,000)	(200,000)	(200,000)	(250,000)		平成30年度目標 300,000千円		
	実績				151,000	250,000						
活動指標	三ツ星若狭牛PR店舗数 (目標)				(30)	(60)	(90)					
	実績				35	70						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費		国庫		起債		その他		一般財源		事業主体	県、団体
予算額	3,148								3,148		事業実施方法	補助
											補助率	1/2

事業評価

事業名	三ツ星若狭牛PR事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>昭和61年に「若狭牛」が県産ブランド和牛に指定されてから25年以上経過し、時代とともに産地間競争が激しくなっている現状を踏まえ、新たな特徴のある「ブランド若狭牛」が求められている。また、生産者や流通業者の意見からは消費が伸び悩んで、他県と比べて価格が低くなっている。県のブランドとして生産拡大や支援に繋がる起爆剤が必要である。</p> <p>食肉の美味しさの新たな指標とされる「オレイン酸」に特化した「三ツ星若狭牛」を初動的に周知や販路開拓を進めていくため、県が主導して県内外に向けてPRを行い、三ツ星若狭牛の認知度向上を図る。</p>							
[受益者] 一般県民				[想定される受益者数] 80万人			
他県の状況	<p>能登牛販売促進PR事業（石川県） 予算額：1,500千円 補助率：定額 ・生産出荷体制の強化 ・販売促進・PR活動の展開による認知度向上</p> <p>県産畜産物PR事業（富山県） 予算額：400千円 ・県産牛、県産豚の販売促進・PR活動の展開による認知度向上</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<p>無</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 食の國福井ブランド力強化事業 (役割分担)</p> <p>県外のイベントや商談会等で三ツ星若狭牛をPRし、取扱い店を確保。</p>	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
平成26年7月12日より三ツ星若狭牛を販売開始し、県内を中心に販売促進活動を実施 三ツ星若狭牛提供店舗数 70店舗 三ツ星若狭牛販売頭数 215頭 三ツ星若狭牛販売額 2億5千万円		変更なし。 なお、予算については、県内飲食業界へのPR費を節減したことに伴い減額。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 146
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

六呂師高原スポーツ・体験観光促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三
福井ふるさと元気宣言における位置付け	■ 政推枠	ビジョン	[元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H28 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金			
[事業目的]											
平成28年度の中部縦貫自動車道永平寺大野道路の全線開通を契機として、奥越地区の中でも雄大な自然を有する六呂師高原にスポーツ施設や周辺環境の整備を実施し、奥越の周遊観光拠点となる地域づくりを行い、自然やスポーツ、様々な体験等による観光客の誘致拡大を図る。											
[事業内容]											
<p>奥越高原牧場の機能強化</p> <p>①酪農体験期間の拡大 723千円 4～11月の土日祝日に1日2回の乳牛エサやり体験を新たに実施（ふれあい畜産機能強化事業を増額）</p> <p>②放牧期間拡大のための簡易放牧施設の整備 2,160千円 乳牛用水飲み場設置1式 草架（給餌設備）設置1台</p> <p>ミルク工房奥越前の誘客力強化</p> <p>①牧場の搾りたての生乳を利用した加工体験実施 3,112千円 殺菌機1台 冷蔵庫1台 運搬容器3個 計量器1台</p> <p>②レストランメニュー、乳製品加工体験等の充実 ミルク工房周辺で賑わいイベントを実施</p>											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由	
当初予算額の推移							5,995			H26年度は、大規模ハウスと集出荷施設を整備 H27年度は、農産物加工施設を整備 H28年度は、植物工場を整備	
2月現計予算額の推移											
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠	
成果指標	ミルク工房への来場者	(目標) 実績			8,700			(13,000)		年間8,700人(H26)→13,000人(H29) (加工体験、レストラン利用)	
活動指標	放牧期間の拡大	(目標) 実績			5か月	5か月	(6.5か月)	(7.5か月)		現状5か月間(5月中旬～10月中旬)の放牧 →早春1か月、晩秋1.5か月拡大(H28は晩秋のみ拡大)	
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	5,995		1,000		4,995	事業実施方法	直営				
						補助率	—				

事業評価

事業名	六呂師高原スポーツ・体験観光促進事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	向出茂三	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>平成28年度の中部縦貫自動車道永平寺大野道路の全線開通を契機として、奥越地区の中でも雄大な自然を有する六呂師高原にスポーツ施設や周辺環境の整備を実施し、奥越の周遊観光拠点となる地域づくりを行い、自然やスポーツ、様々な体験等による観光客の誘致拡大を図る。</p>								
[受益者] 県民、観光客				[想定される受益者数] 13,000人／年				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	大野市と連携した誘客力向上策の提案			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	